慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	法学研究編集委員会(Hogaku kenkyu henshu iinkai)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1988
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.61, No.2 (1988. 2) ,p.289- 289
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	青柳文雄先生追悼号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19880228-0289

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

昭和六一年一二月二八日午前五時一〇分、青柳文雄先生が急性心不全のため急逝された。七四歳であった。

法学研究編集委員会においては、先生のご冥福をお祈りするため、追悼論文集を企画し、先生ととくに縁の深かった刑事法専攻の専任者および研究者・実務家の方々に執筆をお願いしたところ、幸にも大方のご協力を賜わり、ここに八編の論稿を得て、予定通り発刊の運びに至った。

青柳先生は、昭和一〇年法学部法律学科を御卒業後、同年高等文官試験司法科に合格されたのち、検察官、最高裁判所刑事局事務官、最高裁判所調査官と実務に携わられ、その後上智大学教授、東京高等裁判所判事を勤められ、昭和四七年から慶應義塾大学法学部教授として刑法・刑事訴訟法を担当された。その間、昭和二二年からは非常勤講師として刑事訴訟法の講義をご担当されている。法学部を退かれたのち、弁護士としても活躍され、学界・実務に幅広く幾多の業績を残されたのである。

青柳先生は、「刑事裁判と国民性」をテーマとするライフ・ワークに取り組んで来られたが、これは、先生が戦前検事としてご在任中、日本人が簡単に自白することに疑問を持たれたことがきっかけであった。そして、長年にわたる実務経験をふまえ、さらに理論的に研究するため上智大学に移られ、そこで、いろいろな国の聖職者の方々と接する機会を得られて、国によって「法」や「裁判」に対する考えかたに大きく違いがあるということを確かめられ、刑事司法全般にわたる論文を発表されたのであるが、それらのご研究は六冊にわたる論文集となっている。

また先生は、豊かな実務経験を基礎として、刑法・刑事訴訟法における広範かつ多様な問題について、実務的視点にたった綿密な理論的解釈を展開され、「刑法通論Ⅰ・Ⅱ」、「五訂刑事訴訟法通論上・下」、「日本刑法論」、「日本刑事訴訟法論」を著わされ、わが国の刑事法学界に多大の貢献をされたのである。

いま、青柳先生が、帰天されたことは、わたくしたちにとって誠に愁嘆に堪えないところである。謹みて、この論文集を青柳先生のご霊前にささげるとともに、御協力いただいた執筆者各位に対し衷心から感謝の意を表する次第である。

安らかに眠られることをお祈り申しあげる。

昭和六三年一月

合掌

法学研究編集委員会